

# 『幸福な田舎のつくりかた』

氏著 美弘丸金  
新

## 成功事例、トッパーナー紹介

【徳之島】食環境ジ

ヤーナリスト・食総合プロデューサーの金丸弘美氏が新著『幸福な田舎のつくりかた』地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす『学芸出版』を発行した。全国1000の農山漁村を訪れ、各地で地域活性化アドバイザーを務める同氏。ローカルの魅力を売り返むトッパーナーたちの「新しい田舎のつくり方」を解き明かしている。

高齡化や経済の衰退

が地方の課題として叫ばれて久しい中で、地域内外との交流を生み出し、地元特産品の売り上げを伸ばし、雇用を生んでいる地域がある。共通するのは、地域の人が自らの個性を発見し、人や資源をつなぎ、地域を誇ること。共感を呼んでいる点。「地域を誇ることが、参加と共感を呼び、小さくても確かな経済をまわす」と金丸氏。

四六判208頁・1890円(税込み)。

①なもの探しから、あるもの磨きへ②ローカルを発信する、ユニークさが共感を呼ぶ③人をつなぎ、農村と都市をつなぐの3部構成。食と映画の都・山形県鶴岡市をはじめ、小説の舞台ともなった高知県おもてなし課、進化する直売所「さいさいきて屋」(愛媛県)、地域応援商社四万十ドラマ(高知県)、阿蘇



金丸弘美

地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす

金丸弘美氏の新著『幸福な田舎のつくりかた』(学芸出版)

一の宮門前町商店街(熊本)―など多数の成功事例を分析。それからトッパーナーたちは「一度は、どん底を経験。自らの行動で地域の個性を見出し、足元にあるものを発信してきた」という共通点も紹介している。

映画化も決定した20万部ベストセラー観光小説『県庁おもてなし課』著者の有川浩氏も、「この一冊で観光小説が何本も書けそう。まちおこしの水先案内人、入魂の最新レポート。日本中のふるさとにあふれ返る『物語』が、地方から日本を元気にする…」と推薦のことばを寄せた。

金丸氏は、妻子が8年間暮らした徳之島をテーマにした著書『ゆらしい島のスローライフ』(学研)などでもおなじみ。近著『地域ブランドを引き出す力』『田舎力』ヒト・夢・カネが集る5つの法則』など含め著書多数。